



南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は

進んで学ぶ子

R2.6.26

No.16

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ あなたならどうしますか？



いきなりクイズです。児童の通学路の途中にある写真のような看板をご覧になったことがありますか？ また、それぞれどこに立てかけられているのでしょうか？

- ① 嶋集落から南条小学校に向かう農道の途中(右前方にはハニー南条店があります。)
- ② 南条児童館・南条小学校給食センターの近くで、日野川堤防の下
- ③ 南条大橋西側で日野川堤防への曲がり角(左前方には南条中学校があります。)

これらの看板には、「**お願い** この区間は、平日の午前7時～8時までは児童生徒園児の登校のための**通学路**になりますので**自動車等の通行はご遠慮ください**。南越前町教育委員会、南条小学校PTA、南条中学校愛育会」と書かれています。



また、左のようなマークも描かれています。このマークは、「車両進入禁止」のマークで、「車両(自動車など)が一定の方向に進入することを禁止する」という意味があります。本来ならば、この標識(マーク)が立っている道路に進入してしまった場合、通行禁止違反となり罰則の対象となります。道路交通法という法律に違反することになり、違反点数2点、反則金7000円(普通車)が課せられます。

ただし、これらの看板は公安委員会(警察)が設置したものではありませんので、法律上の力はなく、守らなくても違反にはならず、罰則もありません。児童の登校時の安全を守るための、教育委員会や小中学校PTAから運転手に対してのお願いということになります。

ところで、私は今年度から朝の登校時間に、③の看板近くであいさつ運動をしています。ある日の朝、私と児童の前に、堤防を南進してきた車が近づいてきました。私と児童の横を通り過ぎる時に、運転手が申し訳なさそうな顔で、「すみません。」と言ってくれました。(初めて言われました。)ただ、児童は、「なぜ謝ってるのかな？」という感じでしたが・・・

このような看板が出ている場合、どう行動されますか？ 「法律じゃないから守らなくてもいいんだよ。」とお子様に説明なさいますか？

○ 日課表の変更(6/29～)

日課表(6/29～)				
日課	月曜日	火～木曜日	金曜日	
登校完了時刻	8:00			
職員朝礼	8:00～8:05			
朝の会	8:05～8:20			
第1校時	8:25～9:10			
第2校時	9:20～10:05			
第3校時	10:15～11:00			
第4校時	11:10～11:55			
掃りの会	11:55～12:10			
給食	12:10～12:55			
昼休み	12:55～13:10			
第5校時	13:15～14:00			
第6校時	14:10～14:55			
第7校時(ク・委)				15:05～15:45
下校バス	月曜日	火曜日	水・木曜日	金曜日
	14:30 (全校)	14:30 (1年) 15:20 (2～6年)	14:30 (1・2年) 15:20 (3～6年)	14:30 (1～3年) 16:05 (4～6年)

来週、6月29日(月)から、日課表(特別時程)をさらに一部変更させていただきます。変更した内容は、2点あります。

- ・給食時間が5分短くなりました。(これまでの45分間に戻しました。児童の給食当番活動も入れていきます。)
- ・4～6年生を対象に、毎週金曜日に第7校時が入りました。そこには、教科の授業やクラブ活動、委員会活動を入れます。そのため、毎週金曜日は16時5分完全下校(下校バス発車時刻)となります。

※1～3年生の下校時刻は、これまでの特別時程と変わりません。

なお、引き続き、朝の読書の時間や業間の活動(マラソンや縄跳びなど)、清掃は入れてありません。

朝の読書の時間がなくても、子どもたちは、時間を見つけて、読書に励んでいます。3年1組の男の子が、私の小学生の頃に夢中になったシートン動物記の『オオカミ王ロボ』を読んでくれていて、うれしくなりました。また、業間の活動を無くしているのは、熱中症予防の意味もあります。清掃がない代わりに、毎日放課後、職員による清掃と消毒作業を行っています。(職員は本当によく働いてくれています。)

【校長のひとりごと】

【校長のひとりごと】

24日(水)の5限目、6年2組が自己プロフィールを書いていました。その中に、「好きな言葉」の欄がありました。何が書いてあるのか覗いてみると、2つのタイプに分かれていました。1つは言葉の響きや意味が好きというタイプで、「うれしい」「夢」「青春」など、もう1つは座右の銘(いつも自分の心に留めておいて、戒めや励ましとする言葉)のようなタイプで、「有言実行」「できるかできないかじゃない、やるかやらないかだ」などでした。一人一人個性があって、なかなかおもしろかったです。

ところで、最近、気になった(気に入った)言葉があります。それは、副島賢和さん(昭和大学大学院保健医療学研究科准教授)の次のような言葉です。「つらい時期は向かい風。地面に這いつくばって、風が通り過ぎるのを待つといいよ。もうすぐ必ず、後ろから追い風が吹くからね。そのときに両手両足を広げて風に乗れるように、今は力を蓄えておくんだよ。」

去年の今頃の生活とはずいぶん違い、毎日余計なストレスがたまる生活を送る中でも、子どもたちの(マスク越しですが)笑顔や楽しそうな笑い声にホッとします。土日にしっかりとエネルギーを蓄えて、また来週、元気な姿・笑顔を見せてほしいと思います。